日本共産党と日本の前途を語るつどい（兼地区党学校） 第1回

自民党政治の終わらせ方　～　日本共産党綱領の話～

党調布狛江府中地区委員長・衆院東京22区予定候補 平野よしたか

1. 自民党政治の行きづまり

2. 国民に「自民党政治に代わる道」を示し、選んでもらう

① 間違った診断から、正しい処方箋は示せない
「官から民へ」「地方分権」「デフレ脱却」「アベノミクス」
「外国人が日本の財産を奪っている」
「日本人は政治に関心が無い」

② まず、日本社会のつきつめた分析を　＝　今日のメインは党綱領2章・4章

3. 綱領2章　日本社会は「アメリカいいなり」「大企業中心」

① （5節） アメリカいいなり
【1段落目】 現状 「国土や軍事などの重要な部分をアメリカに握られた事実上の従属国」

【2段落目】 特徴1　全土基地方式
【3段落目】 特徴2　日本の自衛隊も、アメリカいいなり
【4段落目】 特徴3　日本の外交・経済も、アメリカいいなり

② （6節） 大企業中心のルールなき資本主義
【1段落目】現状 「国内的には、大企業・財界が、アメリカの対日支配と結びついて、日本と国民を支配する中心勢力の地位を占めている」

【2段落目】 特徴1　働くルールの弱さ
【3段落目】 特徴2　女性差別、人権抑圧
【4段落目】 特徴3　中小企業と農業を大切にしない
【5段落目】 特徴4　環境破壊
【6段落目】 特徴5　大企業の利益優先の経済財政政策。逆立ち財政

【7段落目】 原因1　汚職や買収などの癒着、政治腐敗
【8段落目】 原因2　アメリカの経済介入

【9段落目】 結果　日本経済の基盤が崩れている
【10・11】　アメリカいいなり＋大企業中心＝日本の軍国主義復活

4. 綱領4章　日本にいま必要なのは、社会主義ではなく、民主主義

① （12節）「❶現在、日本社会が必要としている変革は、社会主義革命では

なく、❷異常な対米従属と大企業・財界の横暴な支配の打破――❸日本の真の独立の確保と政治・経済・社会の民主主義的な改革の実現を内容とする民主主義革命である。❹それらは、資本主義の枠内で可能な民主的改革であるが、日本の独占資本主義と対米従属の体制を代表する勢力から、日本国民の利益を代表する勢力の手に国の権力を移すことによってこそ、その本格的な実現に進むことができる。」

② （13節） 内容 （ほぼ割愛）
1点だけ … 「天皇の制度」は、改革のハードルにならないので、あってもなくても構わない
戦前の明治憲法は、天皇制を廃止しないと何も政治が変わらなかった

③ （14節） すすめ方
【1段落目】「❶労働者、勤労市民、農漁民、中小企業家（※大企業資本家以外の「階級」）、❷知識人、女性、青年、学生など（※階層）、❸独立、民主主義、平和、生活向上を求めるすべての人びとを結集した統一戦線によって、実現される」
あくまで国民が主人公。要求がカギ。政党の組み合わせではない

【5段落目】 アメリカいいなり・大企業中心をただすテーマ全部で一致できなくても、部分的な統一戦線はできる
「市民と野党の共闘」（2015年～）
日本共産党はこの政権では、安保条約容認、自衛隊合憲（ただし集団的自衛権を認めない2013年時点の憲法解釈に戻す）で構わない

【2段落目】 日本共産党は何をするのか

5. 次回は5/11(土)17:15～18:45 国領・あくろす3階 あくろすホール1
「日本共産党綱領の話②」 残りの章

以上